

6月から住民検（健）診が始まります

今年度も町の住民検（健）診は無料で受けられます!!

集団検（健）診

（公民館など各会場に集まって受ける検（健）診です。）

<検（健）診の種類>

- がん検診…胸部（結核・肺がん）検診、喀痰検査、大腸がん検診、胃がん検診、前立腺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診
- 20～30歳代健診
- 特定健診…町国保に加入している40～74歳の方
- 後期高齢者健診…後期高齢者保険に加入している方
- 肝炎ウイルス検査…40歳の節目の方（H30年度内に40歳になる方）
- 歯科健診

個別検（健）診

（決まった期間内に病院で受ける検（健）診です。）

<検（健）診の種類>

- 婦人科検診…子宮頸がん検診、乳がん検診
- 特定健診…町国保に加入している40～74歳の方
- 後期高齢者健診…後期高齢者保険に加入している方

・生活保護を受給している方には、別途「受診券」等を健診が始まるまでに郵送します。

※詳しい内容は、5月にお届けしている「平成30年度住民検（健）診」のリーフレットをご覧ください。



歯と歯ぐきの元気が、からだの健康を守る!

歯周病（歯と歯ぐきの病気）と、からだのさまざまな部分の病気の関わり



狭心症・心筋梗塞

心臓の筋肉に栄養を送る冠動脈が狭くなったり、詰まることでおこる心臓病。動脈硬化が進行しておこる。

心内膜炎

心臓の弁に歯周病菌が感染しておこることがある。心臓弁膜症など、基礎的な病気がある人は要注意。



糖尿病

血糖値が高い状態が続いておこる。ひどくなると、さまざまな合併症をもたらし、歯周病もその一つといわれる。



肥満

肥満はさまざまな生活習慣病の温床。最近、おなかに脂肪がつく内臓脂肪型肥満がメタボリックシンドロームの大きな原因になるため、とくに問題になっている。



胎児の低体重・早産

妊娠中はつわりなどで、口の中のケアがむずかしくなりがち。歯周病が妊娠・出産に影響を及ぼすというデータも。



バーシャー病

手や足のゆび先が青紫色になって強い痛みがおり、潰瘍になってひどくなると細胞が死んでしまう（壊死）病気。喫煙者に多い。



認知症

物忘れが病的になった状態。何らかの原因で脳が萎縮するアルツハイマー型と、脳卒中の後遺症としておこる脳血管性がある。



動脈硬化

高血圧や脂質異常が進んで、血管が厚く硬くなった状態。血液がスムーズに流れない虚血性的心臓病や脳卒中の原因になる。



がん

歯周病菌によって炎症がおり、それが続くことで正常細胞に異常をきたし、発がんにつながりという説も出てきている。



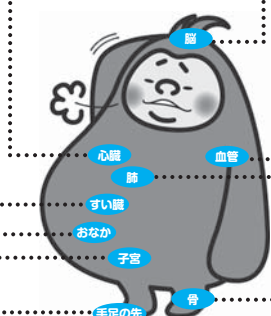
肺炎

歯周病菌など、口の中の細菌が気管に入り込み、肺炎にかかることも。高齢者、寝たきりの人や、脳卒中の後遺症などで飲み込む力が低下しているとおりやすくなる。



骨粗しょう症

女性に多く、骨密度が低くなり、骨がすかすかにもろくなる病気。骨折しやすく、高齢者の寝たきりの大きな原因。



岡山市内市町村・岡山県国民健康保険団体連合会
マスコットキャラクター「ナマケルン」

出典：公益財団法人 8020 推進財団 歯とお口の健康小冊子
「からだの健康は歯と歯ぐきから ～歯周病対策で健康力アップ～」より